

(別紙) 業務提案評価及び価格評価の評価基準

1 業務提案評価点

(1) 算定方法

ア 業務提案書及び質疑応答の結果を踏まえ、下表に基づき、基本提案の内容等を各評価項目ごとに5段階で評価した後、係数と掛け合わせたものを合計する。

イ 上記アによる各審査員の採点を集計、平均し業務提案評価点とする。評価点は250点満点とし、端数処理は小数点第二位を四捨五入する。

2 価格評価点

(1) 算定方法

ア 入札書による価格評価点は【No.15】の式によって求める。

イ 上記アによる各審査員の採点を集計、平均し価格評価点とする。評価点は120点満点とし、端数処理は小数点第二位を四捨五入する。

【業務提案評価及び価格評価の評価基準】

No	評価項目	評価基準	評価配点	係数	評価点
1	事業運営能力	廃プラスチック類の処理業務について受注実績や再商品化施設の運営実績が十分か。 受注実績等を有しない事業者の場合は、運営体制や人員計画などが十分に計画されているか。	5	5	25
2	事業計画の具体性	業務の実施スケジュールが明確であるか。 許可等の取得・手続きが実施されているか。	5	3	15
3	搬入場所及び搬入方法について	収集車両が搬入する施設が、合理的な運搬が可能となる適切な場所に設定されているか。搬入場所を含めて、輸送効率性について配慮されているか。	5	6	30
4		施設搬入時のプラスチック資源の搬入基準（搬入時の荷姿及びプラスチックの対象範囲や汚れたものの取扱いを含む）・搬入可能時間が適切かつ柔軟に設定されているか。	5	4	20
				小計	50
5	安定的かつ合理的な処理体制	施設の処理能力及び保管場所の広さは当市のプラスチック資源を受け入れに対し十分であるか。	5	3	15
6		受入設備、選別設備、破碎設備、洗浄設備、脱水・乾燥設備、貯蔵設備等の適切な設備機器の導入、人員配置がされているか。	5	3	15
7		適切かつ有効な再商品化技術を採用しているか。 マテリアルリサイクル提案の場合 マテリアルリサイクル提案の場合 マテリアルリサイクル提案の場合 マテリアルリサイクル提案の場合	5	2	10
8		再商品化製品の活用方法は適正であるか。 繰り返しリサイクルできるなど、再商品化製品が高価値であるか。 販路先を十分に確保しているか。	5	2	10
				小計	50
9	環境配慮	収率向上のため、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会で行われる残渣処理基準を下回ることのないよう残渣処理や減量化など、適切な処理に取り組んでいるか。	5	3	15
10		騒音・振動・臭気といった生活環境への配慮、処理工程等におけるLCA評価の実施および脱炭素化への具体的な取組があるか。	5	3	15
				小計	30
11	施設運営上のリスク管理	メンテナンス、故障時のバックアップ体制や災害時の緊急体制は整っているか、安全体制、安全教育などの管理体制は整っているか。	5	4	20
12		リチウムイオン蓄電池等の発火等による火災等の防止対策及び火災等の発生時の対処方策は、具体的であるか。	5	4	20
				小計	40
13	地域貢献	受入施設及び再商品化施設で障がい者従業員の雇用等の福祉へ貢献する内容や、市民への環境学習の実施その他の地域貢献に資する取り組みはあるか。	5	3	15
14	独自提案	事業者独自の提案は有意義か、実現性の高い提案であるか。	5	5	25
				業務提案評価点	250
15	価格	満点120点×全ての参加者から提出された入札書の最低価格／当該参加者が提出した入札書の価格 (小数点第二位四捨五入)	最低入札価格 入札価格	1 1	120 120
				価格評価点	120
				合計	370

段階	1	2	3	4	5
評価	非常に劣っている	劣っている	普通	優れている	非常に優れている